

2. 自転車の利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について

(1) 「利用促進」について

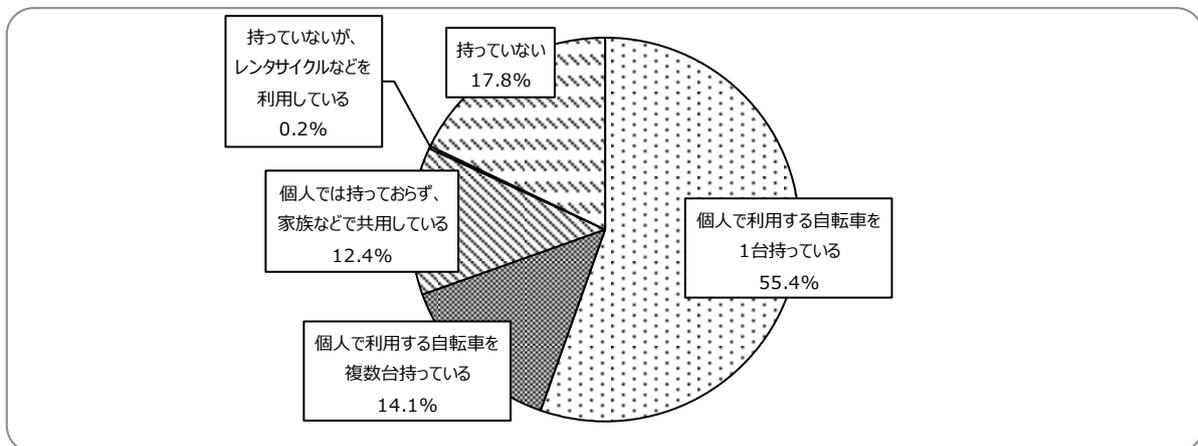
≪自転車の保有台数≫

問 14. 自転車を持っていますか。

【選択は 1 つ】

「個人で利用する自転車を 1 台持っている」が 55.4%、「個人で利用する自転車を複数台持っている」が 14.1%、「個人では持っておらず、家族などで共有している」が 12.4%であり、約 8 割(81.9%)の方が何らかの形で自転車を保有していることが分かる。また、「持っていないが、レンタサイクルなどを利用している」が 0.2%、「持っていない」が 17.8%であった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	個人で利用する自転車を1台持っている	267	55.4%
2	個人で利用する自転車を複数台持っている	68	14.1%
3	個人では持っておらず、家族などで共有している	60	12.4%
4	持っていないが、レンタサイクルなどを利用している	1	0.2%
5	持っていない	86	17.8%
	計（回答総数）	482	100.0%



「自転車の利用頻度」

問 15. 問 14 で「1 個人で利用する自転車を 1 台持っている」「2 個人で利用する自転車を複数台持っている」「3 個人では持っておらず、家族などで共用している」「4 持っていないが、レンタサイクルなどを利用している」と回答された方に伺います。

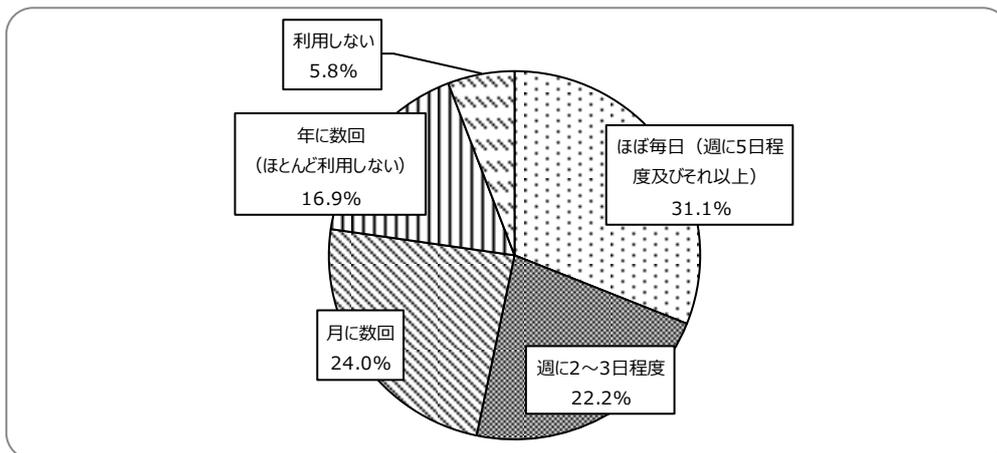
あなたはどれくらいの頻度で自転車を利用しますか。

【選択は 1 つ】

「ほぼ毎日(週に 5 日程度及びそれ以上)」が 31.1%、「週に 2~3 日程度」が 22.2%であり、約 5 割(53.3%)の方が恒常的に利用している。また、「月に数回」が 24.0%、「年に数回(ほとんど利用しない)」が 16.9%であり、約 4 割(40.9%)の方は限られた時のみ利用している。

自転車を保有しているが「利用しない」方は 5.8%であった。

	選択項目(N=396)	回答数	構成比
1	ほぼ毎日 (週に5日程度及びそれ以上)	123	31.1%
2	週に2~3日程度	88	22.2%
3	月に数回	95	24.0%
4	年に数回 (ほとんど利用しない)	67	16.9%
5	利用しない	23	5.8%
	計 (回答総数)	396	100.0%



《自転車の利用方法》

問 16. 問 15 で「1 ほぼ毎日（週に 5 日程度及びそれ以上）」「2 週に 2～3 日程度」「3 月に数回」「4 年に数回（ほとんど利用しない）」と回答された方に伺います。

自転車をどのように利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

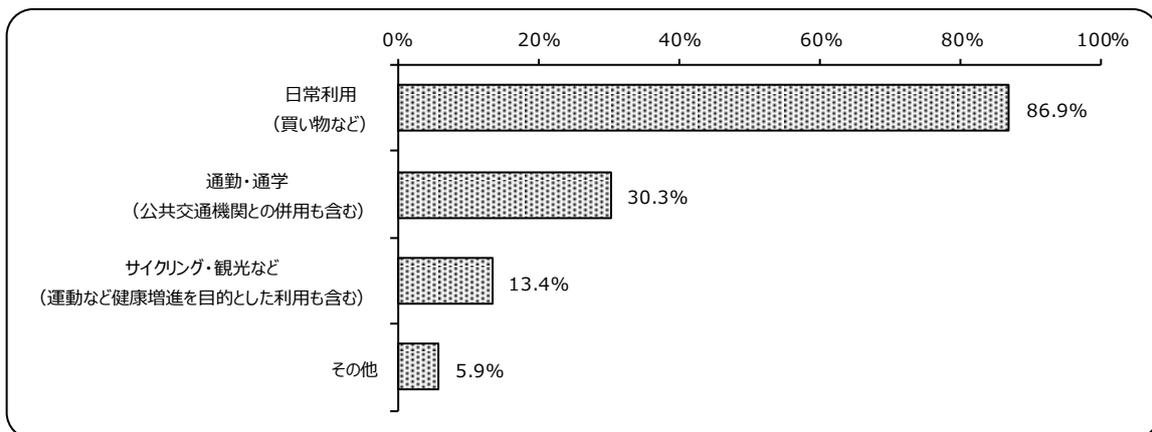
「日常利用(買い物など)」が 86.9%と、自転車を利用する方の主な目的であることが分かる。また、「通勤・通学(公共交通機関との併用も含む)」が 30.3%、「サイクリング・観光など(運動など健康増進を目的とした利用も含む)」が 13.4%であった。

	選択項目(N=373)	回答数	構成比
1	日常利用（買い物など）	324	86.9%
2	通勤・通学（公共交通機関との併用も含む）	113	30.3%
3	サイクリング・観光など（運動など健康増進を目的とした利用も含む）	50	13.4%
4	その他	22	5.9%
	計（回答総数）	509	136.5%

[4 その他]

【主な回答】

- 駐車場の確保が困難な時間帯や場所へ向かうとき
- 習い事、通い先など
- 歩くには遠く、車で行くには近い距離の場所へ向かうとき



「堺市シェアサイクル実証実験の認知度と利用実績」

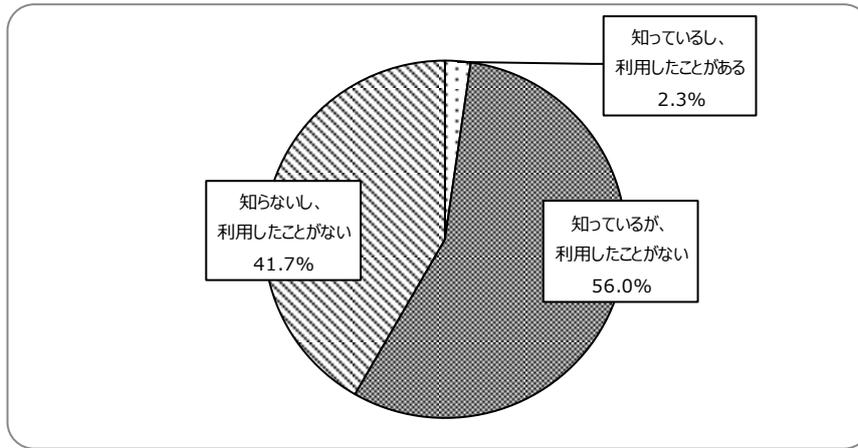
問 17. 「堺市シェアサイクル実証実験」をご存知ですか。

【選択は 1 つ】

「知っているが、利用したことがない」が 56.0%、「知っているし、利用したことがある」が 2.3%と、「堺市シェアサイクル実証実験」を知っている方は約 6 割(58.3%)である。

「知らないし、利用したことがない」が 41.7%であったため、利用者の増加及び認知度を高めるために広報などで周知を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	知っているし、利用したことがある	11	2.3%
2	知っているが、利用したことがない	270	56.0%
3	知らないし、利用したことがない	201	41.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



◀堺市シェアサイクル実証実験の利用希望▶

問 18. 問 17 で「2 知っているが、利用したことがない」「3 知らないし、利用したことがない」と回答された方に伺います。今後利用したいと思いますか。 【選択は 1 つ】

「関心はあるが、利用したいと思わない」が 25.3%、「関心があり、利用したいと思う」が 21.7%、「利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない」が 18.9%と、約 7 割(65.9%)の方が関心を持っており、うち今後の利用について約 4 割(40.6%)の方が利用したいと考えていることが分かる。

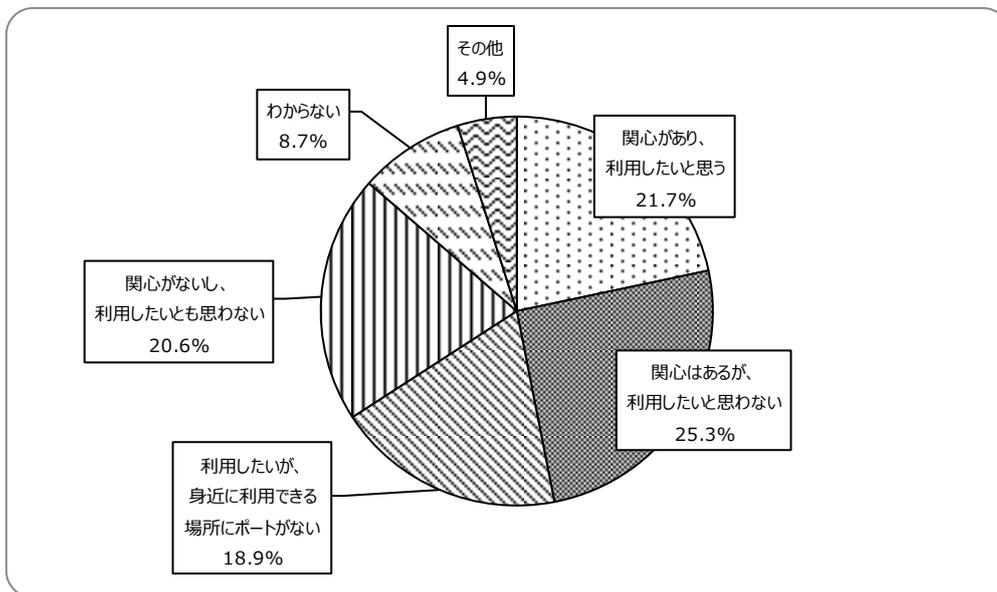
また、「関心がないし、利用したいと思わない」が 20.6%、「わからない」が 8.7%であった。

	選択項目(N=471)	回答数	構成比
1	関心があり、利用したいと思う	102	21.7%
2	関心はあるが、利用したいと思わない	119	25.3%
3	利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない	89	18.9%
4	関心がないし、利用したいと思わない	97	20.6%
5	わからない	41	8.7%
6	その他	23	4.9%
	計 (回答総数)	471	100.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 小さい子どもがいるので、利用したいが一緒に乗れる自転車がなく利用できない。
- 関心はあるが、自転車を保有しているため利用する機会がない。
- 利用には専用のアプリを取る必要があることなど、利用方法がよくわからない。



「シェアサイクルの利便性向上」

問 19. 現在、シェアサイクルポートを拡充しています。今後、どのような場所に設置されていると利用しやすい、または利用してみたいと感じますか。 【複数選択可：いくつでも】

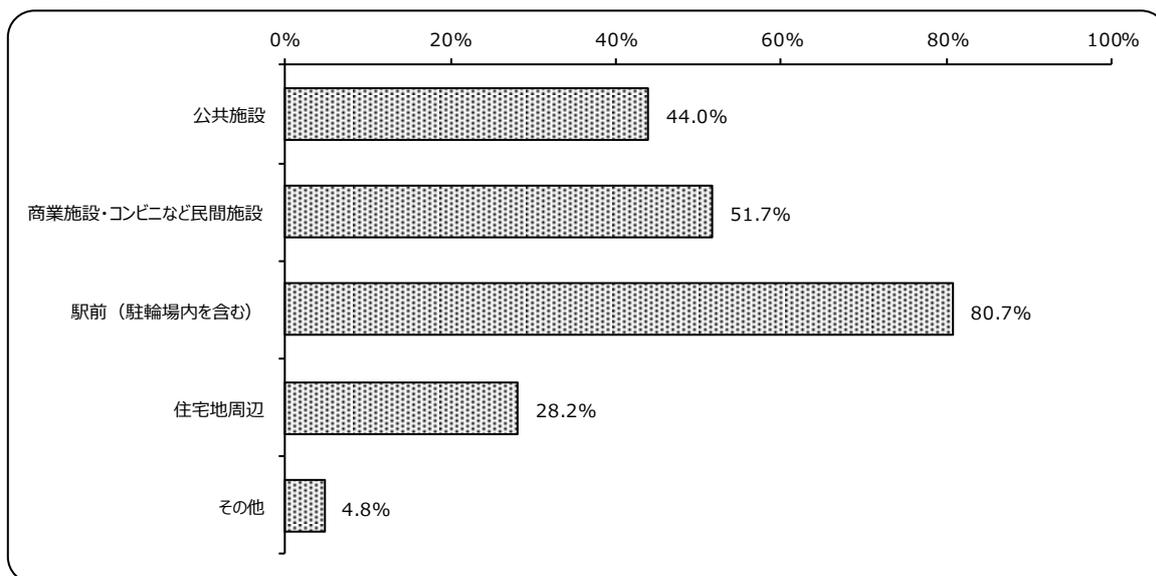
「駅前(駐輪場内を含む)」が 80.7%、「商業施設・コンビニなど民間施設」が 51.7%、「公共施設」が 44.0%、「住宅地周辺」が 28.2%であり、「駅前(駐輪場内を含む)」のシェアサイクルポートが拡充されると、利用しやすい、または利用してみたいと感じることが分かる。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	公共施設	212	44.0%
2	商業施設・コンビニなど民間施設	249	51.7%
3	駅前（駐輪場内を含む）	389	80.7%
4	住宅地周辺	136	28.2%
5	その他	23	4.8%
	計（回答総数）	1,009	209.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 広い公園
- 観光地
- バス停付近



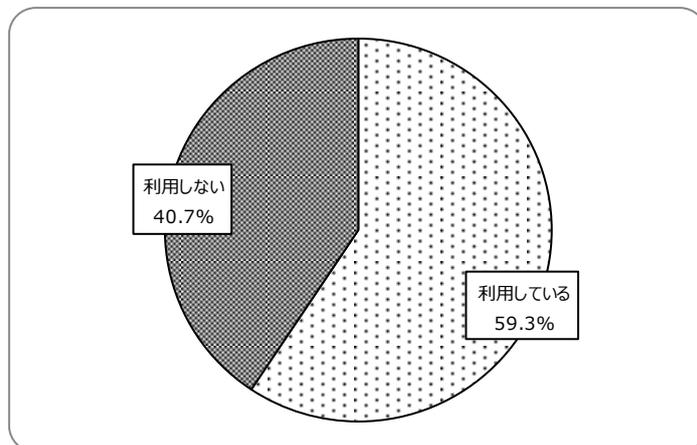
(2) 「安全利用」について

問 20. 普段から自転車を利用されていますか。

【選択は 1 つ】

「利用している」が 59.3%、「利用しない」が 40.7%であった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	利用している	286	59.3%
2	利用しない	196	40.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



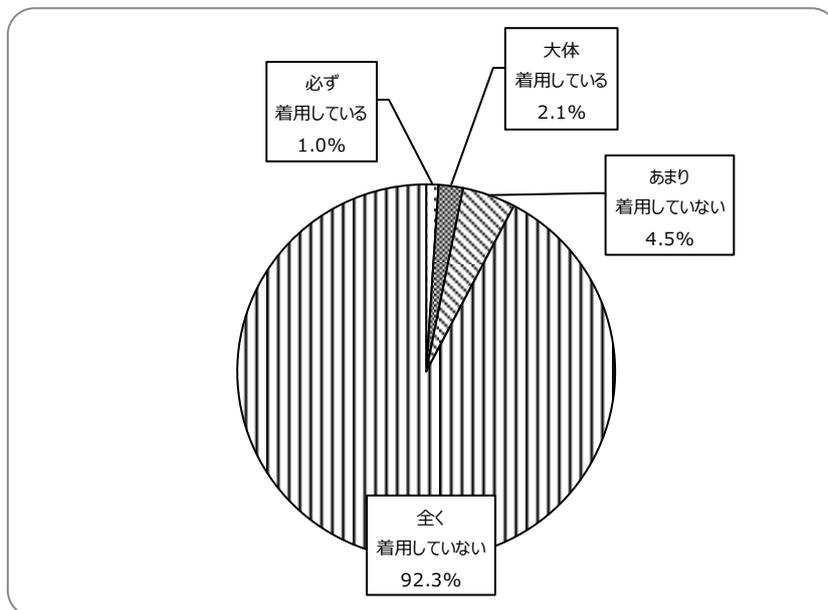
「ヘルメットの着用状況」

問 21. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。日頃、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。 【選択は 1 つ】

「全く着用していない」が 92.3%、「あまり着用していない」が 4.5%、「大体着用している」が 2.1%、「必ず着用している」が 1.0%であり、「必ず着用している」、「大体着用している」の合計が 1 割未満(3.1%)と低い着用率となっているため、引き続きヘルメット着用に関する周知・啓発を行う必要がある。

また、昨年度の着用率は「必ず着用している」が 1.3%、「大体着用している」が 0.6%と合計が 1.9%であった。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	必ず着用している	3	1.0%
2	大体着用している	6	2.1%
3	あまり着用していない	13	4.5%
4	全く着用していない	264	92.3%
	計 (回答総数)	286	100.0%



「自転車保険の加入状況」

問 22. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。自転車を利用中に加害事故を起こした場合の被害者への賠償に備えた保険（いわゆる自転車保険または個人賠償責任保険等）に加入していますか。

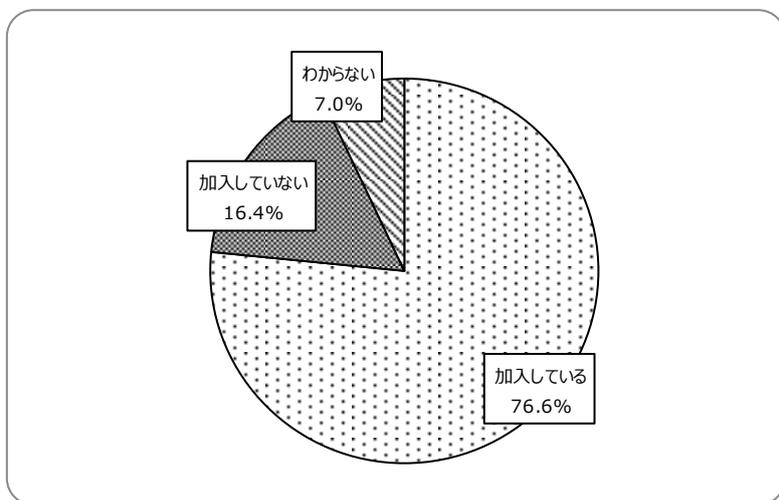
※平成 28 年 7 月より大阪府内で自転車を利用する場合、保険への加入が義務化されました。

【選択は 1 つ】

「加入している」が 76.6%、「加入していない」が 16.4%、「わからない」が 7.0%であり、「加入していない」、「わからない」の合計が 23.4%であった。

また、昨年度の加入率は 74.8%であったため増加していることがわかるが、保険への加入が義務化されているため引き続き周知・啓発を行う。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	加入している	219	76.6%
2	加入していない	47	16.4%
3	わからない	20	7.0%
	計 (回答総数)	286	100.0%



「自転車歩道通行可の標識走行」

問 23. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。車の仲間である自転車が歩道を通行することが出来るのは、「自転車歩道通行可」の標識がある場所だけです。あなたは普段、この標識があることを意識して通行していますか。

※但し、13 歳未満の方や 70 歳以上の方、または身体の不自由な方が自転車を運転するときは例外的に通行できます。また工事等で車道走行できない場合なども通行できます。 【複数選択可：いくつでも】

「標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している」が 40.9%、「標識を意識して通行していない」が 26.9%、「標識の有無しに関係なく歩道を通行している」が 18.2%、「標識の有無しに関係なく車道を通行している」が 14.0%、「交差点に標識がないときは歩道を通行して良いかわからない」が 5.2%であった。

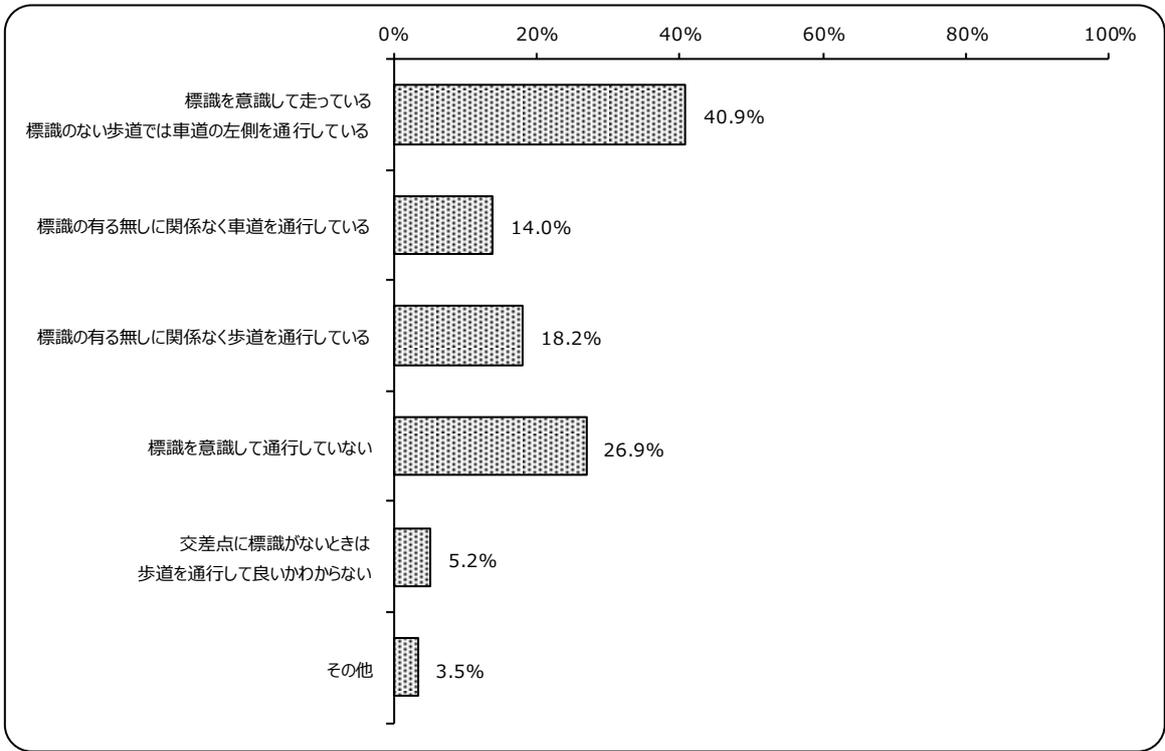
標識の有無を意識せずに走行している自転車の割合が半数を越えているが、「標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している」が約 4 割と項目の中で最も高く（昨年度 29.0%）、昨年度と比べるとルールが浸透してきているものとする。しかしながら、引き続き周知・啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	標識を意識して走っている標識のない歩道では車道の左側を通行している	117	40.9%
2	標識の有無しに関係なく車道を通行している	40	14.0%
3	標識の有無しに関係なく歩道を通行している	52	18.2%
4	標識を意識して通行していない	77	26.9%
5	交差点に標識がないときは歩道を通行して良いかわからない	15	5.2%
6	その他	10	3.5%
	計（回答総数）	311	108.7%

[6 その他]

【主な回答】

- 基本的には車と同じ向きで走っている。
- 子どもを自転車に乗せている時は車道を走る事に不安を感じることもあるため、時と場合による。
- 路上駐車などで危険な場合は、歩道を通行することもある。
- なるべく車道を走っているが、道路と歩道の整備をきちんとしてほしい。
- 70 歳以上なので、安全のため歩道を通行している。
- 標識の有無を意識しているが、標識がどこにあるか分かりづらい時や、車道が危険であるような場所は主に歩道を通行している。
- 出来る限り歩道を通行する。



≪自転車のあおり運転≫

問 24. 令和 2 年 6 月 30 日に道路交通法が改正され、自転車も「妨害運転」（「あおり運転」）として、罰せられるようになりました。次のような行為が自転車の「あおり運転」に当たります。

- ・逆走して進路をふさぐ
- ・急に割り込む(進路変更)
- ・幅寄せ
- ・不必要な急ブレーキ
- ・車間距離の不保持
- ・執拗にベルを鳴らす

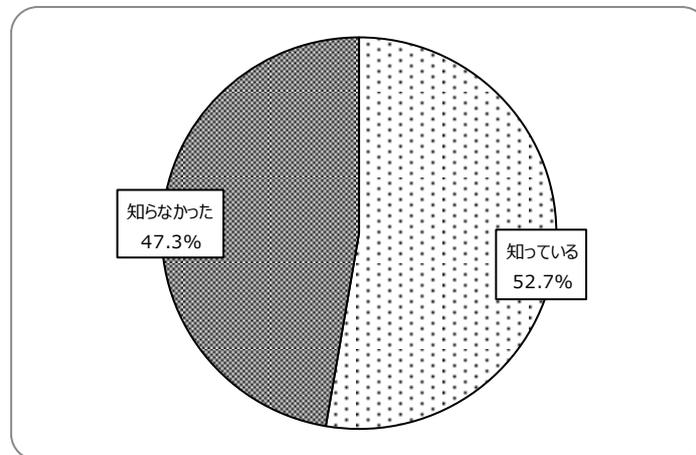
このことをご存知でしたか。

【選択は 1 つ】

「知っている」が 52.7%、「知らなかった」が 47.3%と、割合はほぼ拮抗していることが分かる。

昨年度（「知っている」が 45.5%、「知らなかった」が 54.5%）と比べると「知っている」と回答した方は増加しているが、ほぼ半数の方が「知らなかった」と回答していることから、引き続き周知・啓発を行う必要がある。

選択項目(N=482)		回答数	構成比
1	知っている	254	52.7%
2	知らなかった	228	47.3%
計 (回答総数)		482	100.0%



《ルール・マナーの順守について》

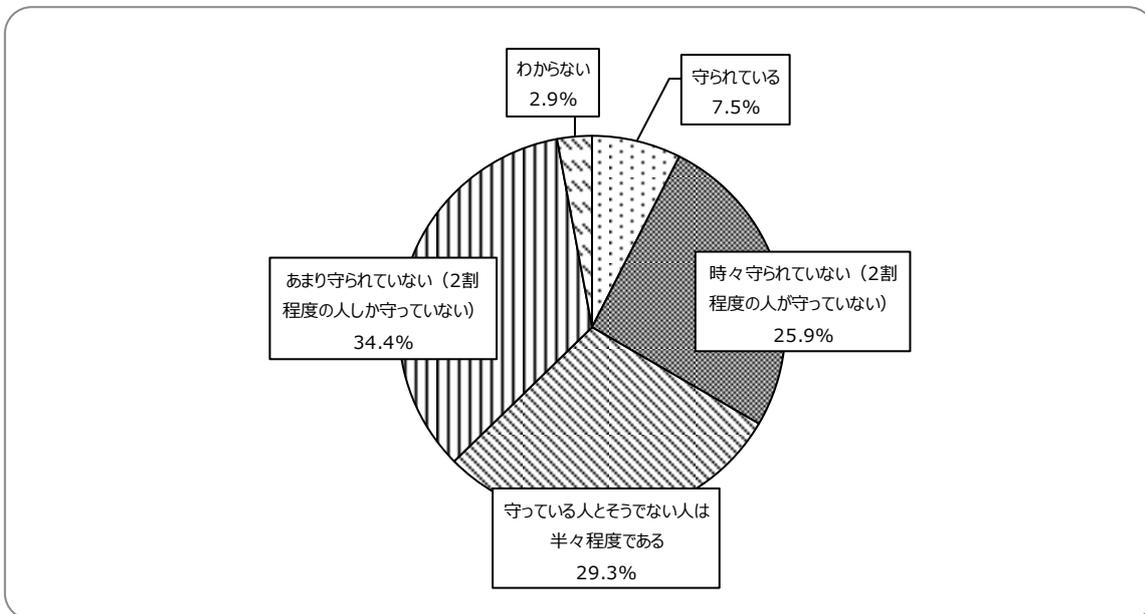
問 25. 日常生活において、街中で見て感じる自転車の交通ルール・マナーについて伺います。

自転車乗車中の交通ルール・マナーが守られていると思いますか。

【選択は 1 つ】

「あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）」が 34.4%、「守っている人とそうでない人は半々程度である」が 29.3%、「時々守られていない（2割程度の人が守っていない）」が 25.9%、「守られている」が 7.5%、「わからない」が 2.9%であり、「守っている人とそうでない人は半々程度である」、「あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）」で約 6 割の方が未だ交通ルール・マナーが守られていないと感じているため、今後も啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	守られている	36	7.5%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	125	25.9%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	141	29.3%
4	あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）	166	34.4%
5	わからない	14	2.9%
	計（回答総数）	482	100.0%



《順守できていないルール・マナーについて》

問 26. 問 25 で「2 時々守られていない（2 割程度の人が守っていない）」「3 守っている人とそうでない人は半々程度である」「4 あまり守られていない（2 割程度の人が守っていない）」と回答された方に伺います。
それは具体的にどのような交通ルール・マナーのことですか。 【複数回答可：いくつでも】

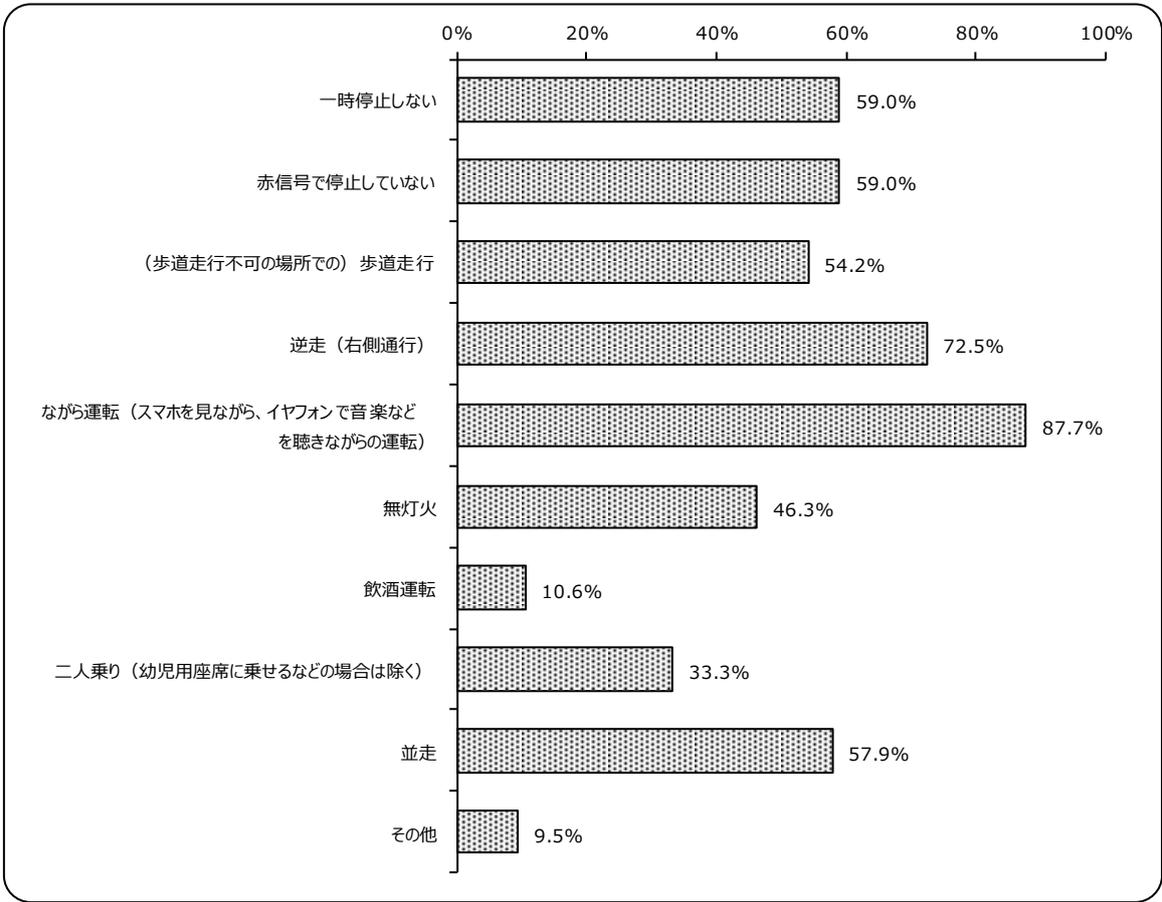
「ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）」の 87.7%が最も割合が高く、順に「逆走（右側通行）」72.5%、「一時停止しない」59.0%、「赤信号で停止していない」59.0%、「並走」57.9%、「（歩道走行不可の場所での）歩道走行」54.2%、「無灯火」46.3%、「二人乗り（幼児用座席に乗せるなどの場合は除く）」33.3%、「飲酒運転」10.6%と、今後も交通ルール・マナーの順守のための周知・啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=432)	回答数	構成比
1	一時停止しない	255	59.0%
2	赤信号で停止していない	255	59.0%
3	（歩道走行不可の場所での）歩道走行	234	54.2%
4	逆走（右側通行）	313	72.5%
5	ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）	379	87.7%
6	無灯火	200	46.3%
7	飲酒運転	46	10.6%
8	二人乗り（幼児用座席に乗せるなどの場合は除く）	144	33.3%
9	並走	250	57.9%
10	その他	41	9.5%
	計（回答総数）	2,117	490.0%

[10 その他]

【主な回答】

- 通学路を小学生などの小さい子どもが歩いている時に、自動車などがスピードを出して危ないと感じることが多々ある。
- 自動車専用高架を自転車で走行すること
- 青色の自転車レーンは逆走してもいいと勘違いしている人が多く、非常に危ない。
- 横断歩道以外の場所で道路を横断
- 雨の日の傘はもちろん、日傘が邪魔で目に入りそうになり事故を起こしそうになった。
- 自転車レーンがあるのに、自転車で歩道を走っている。
- フルアシストの電動自転車で高速で走行する。
- 信号待ちをする際に、右左折する車に巻き込まれそうほど道路からはみ出した位置で一時停止している。
- 進路変更の時に後ろを確認しない。
- 逆走、並走、急な進路変更など、高校生の通学時のマナーが悪い。
- 歩行者に対してベルを鳴らす。



«安全教育や啓発事業の必要性について»

問 27. 自転車のルール・マナーを順守してもらうためには、どのような安全教育や啓発が必要だと考えますか。

【複数回答可：いくつでも】

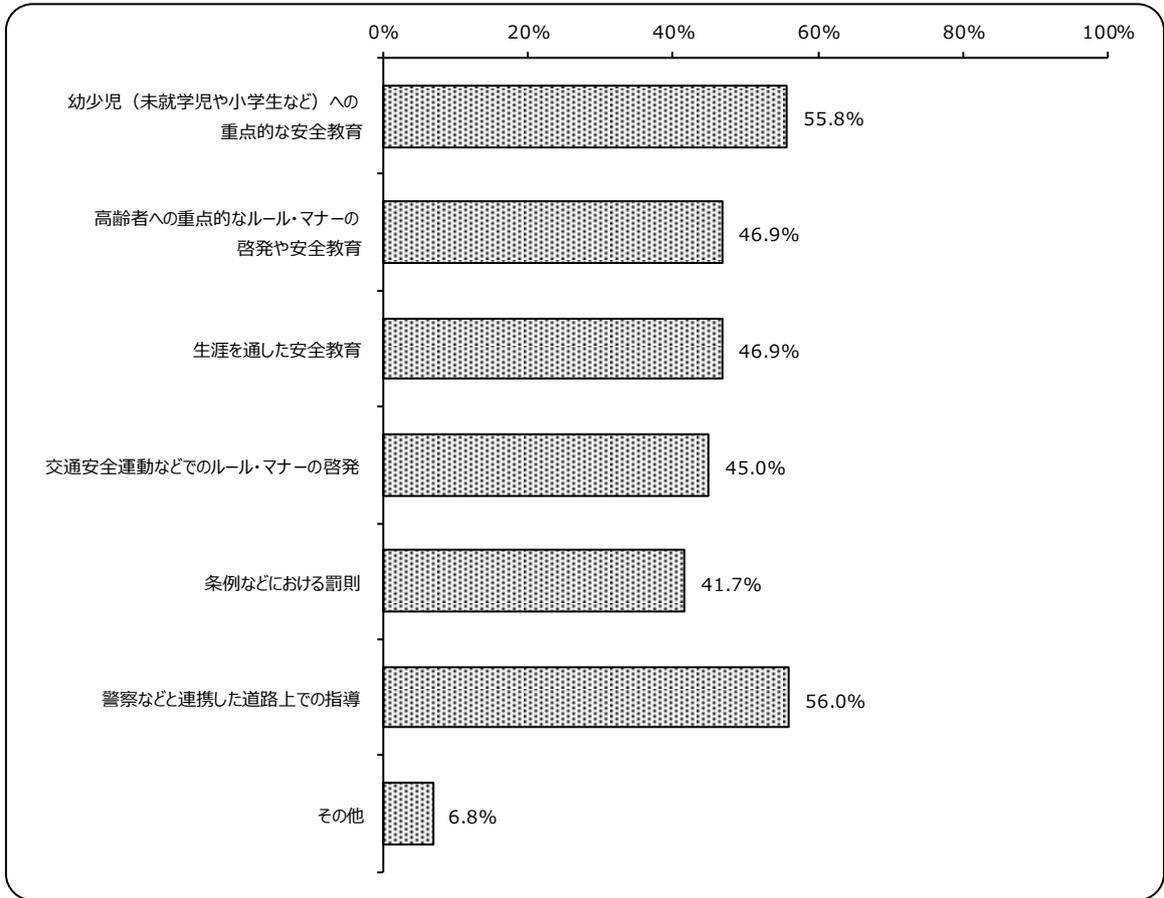
「警察などと連携した道路上での指導」が 56.0%、「幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育」が 55.8%、「高齢者への重点的なルール・マナーの啓発や安全教育」が 46.9%、「生涯を通じた安全教育」が 46.9%、「交通安全運動などでのルール・マナーの啓発」が 45.0%、「条例などにおける罰則」が 41.7%であった。「警察などと連携した道路上での指導」、「幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育」が必要と考えている方が多くいることから、今後も警察等と連携した指導・啓発を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育	269	55.8%
2	高齢者への重点的なルール・マナーの啓発や安全教育	226	46.9%
3	生涯を通じた安全教育	226	46.9%
4	交通安全運動などでのルール・マナーの啓発	217	45.0%
5	条例などにおける罰則	201	41.7%
6	警察などと連携した道路上での指導	270	56.0%
7	その他	33	6.8%
	計（回答総数）	1,442	299.2%

[7 その他]

【主な回答】

- 違反者への罰則強化
- 自転車レーンの充実
- サイクリングなど楽しみながら乗車マナーを身につけてもらう。
- 中・高生の免許を持たない子どもに、車側から見た自転車運転の危険さを知ってもらいたい。
- 高校生含む若い世代への安全教育
- 中・高生のいわゆる「ながら運転」が多いため、学校での安全教育が必要
- 過去に違反歴がなければ、自転車保険が割引になるなどのインセンティブ
- 表彰制度・コンテスト
- 自転車通学を許可している学校での指導、教育
- 自転車講習の義務化
- 歩行者・自転車・自動車用道路の完全な分離



(3) 「通行環境」について

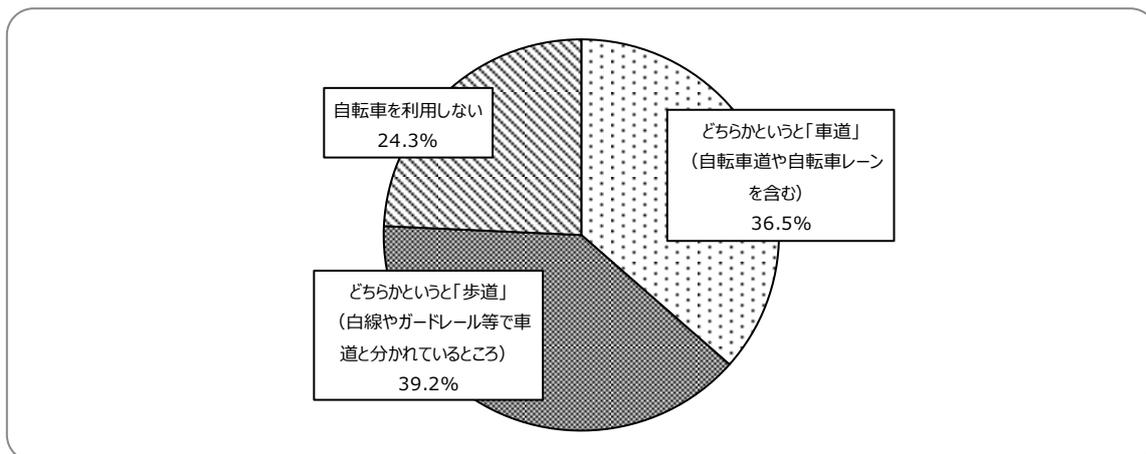
≪自転車通行位置≫

問 28. あなたは、自転車で主にどこを通行していますか。

【選択は 1 つ】

どちらかというと「車道」を通行する方の割合は 36.5%(昨年度 33.5%)、どちらかというと「歩道」を通行する方の割合は 39.2%(昨年度 43.2%)となっている。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	どちらかというと「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)	176	36.5%
2	どちらかというと「歩道」(白線やガードレール等で車道と分かれているところ)	189	39.2%
3	自転車を利用しない	117	24.3%
	計(回答総数)	482	100.0%



《自転車通行におけるルール・マナー》

問 29. 問 28 で「1 どちらかというと「車道」」、「2 どちらかという「歩道」と回答された方に伺います。

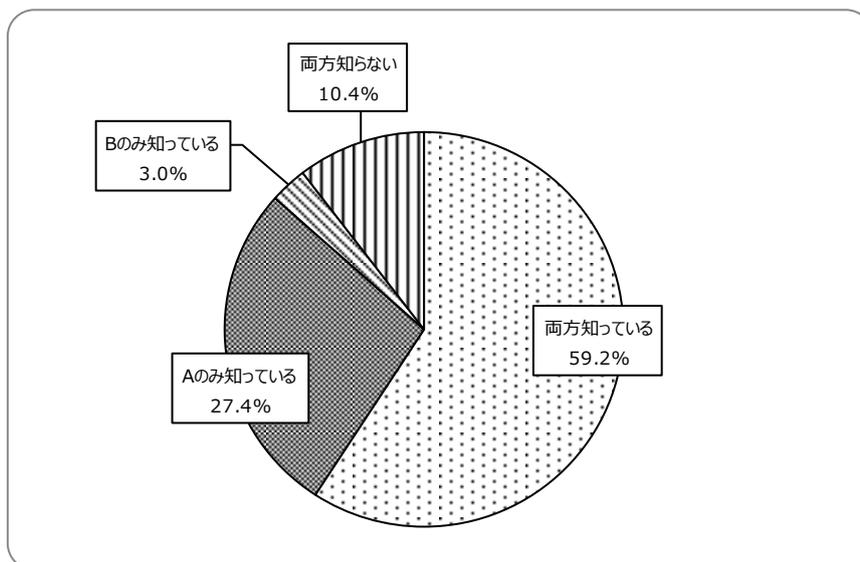
自転車に乗るときの次の 2 つのルールをご存知ですか。

A. 自転車は車道の左側を通行（左側通行）する。

B. 自転車は原則車道通行だが、「自転車歩道通行可」の標識のある歩道を通行する際は、車道寄りを徐行しなければならない。また、歩行者優先のため、その通行を妨げることになる場合は一旦停止をしなければならない。 【選択は 1 つ】

「両方知っている」(59.2%)、「A のみ知っている」(27.4%)と「B のみ知っている」(3.0%)を合わせると 89.6%(昨年度 90.1%)の方が自転車は原則車道通行であることを知っている。一方、「両方知らない」方は 10.4%(昨年度 9.9%)であり、引き続き周知・啓発を行っていく。

	選択項目(N=365)	回答数	構成比
1	両方知っている	216	59.2%
2	Aのみ知っている	100	27.4%
3	Bのみ知っている	11	3.0%
4	両方知らない	38	10.4%
	計 (回答総数)	365	100.0%



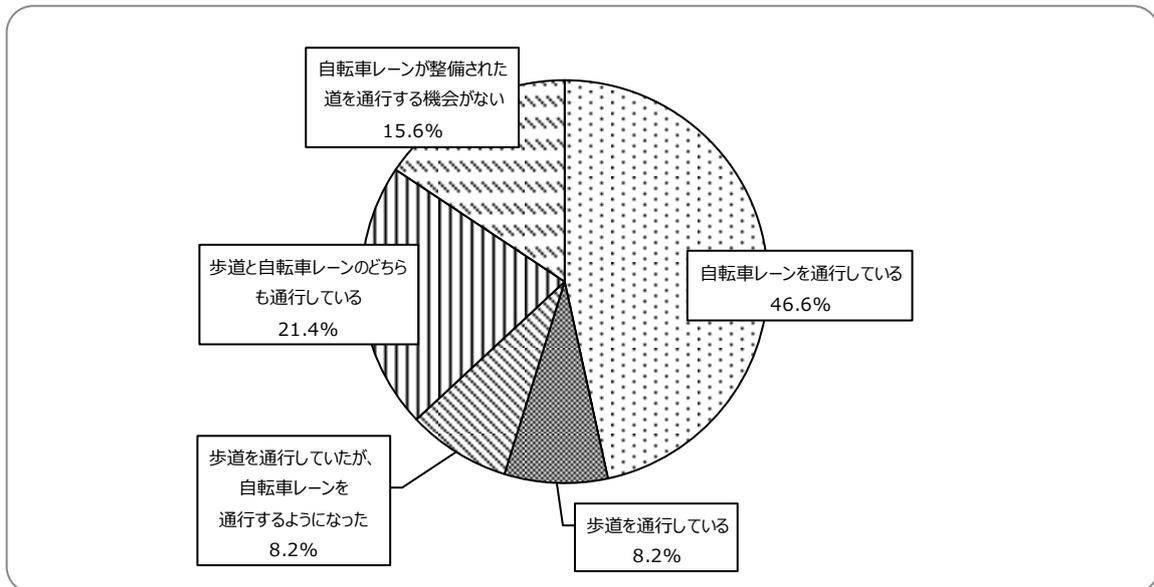
《自転車レーンの通行頻度》

問 30. 問 28 で「1 どちらかというと「車道」」「2 どちらかというと「歩道」」と回答された方に伺います。

本市では車道に青色サインを施した自転車レーンの整備を推進しています。あなたは、整備された自転車レーンを通行するようになりましたか。 【選択は 1 つ】

「自転車レーンを通行している」の割合は 46.6%、「歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった」の割合は 8.2%であり、合わせると 54.8%(昨年度 60.1%)の方が自転車レーンを通行している。一方、自転車レーン整備後も「歩道と自転車レーンのどちらも通行している」の割合は 21.4%、「歩道を通行している」の割合は 8.2%であり、合わせると 29.6%(昨年度 38.7%)の方が自転車レーン整備後も歩道を通行している。

	選択項目(N=365)	回答数	構成比
1	自転車レーンを通行している	170	46.6%
2	歩道を通行している	30	8.2%
3	歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった	30	8.2%
4	歩道と自転車レーンのどちらも通行している	78	21.4%
5	自転車レーンが整備された道を通行する機会がない	57	15.6%
	計 (回答総数)	365	100.0%



《生活道路における自転車通行環境整備について》

問 31. 市内の生活道路では、自転車の逆走や夜間の無灯火などが多いことから、左側通行などの走行マナーの向上を図ることで事故防止につながると考えております。

あなたは、生活道路において自転車の左側通行を促進する路面標示により、自転車通行環境を整備することについてどうお考えですか。 【選択は 1 つ】

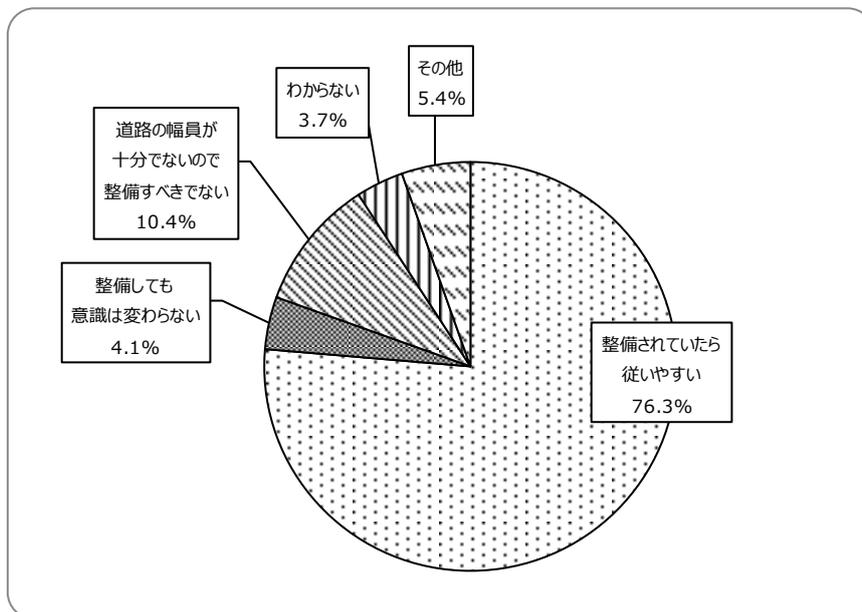
「整備されていたら従いやすい」と考えている方 76.3%に対して、「整備しても意識は変わらない」と「道路の幅員が十分でないので整備すべきでない」と考えている方は合わせて 14.5%であり、生活道路における自転車通行環境整備について肯定的な方が多い。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	整備されていたら従いやすい	368	76.3%
2	整備しても意識は変わらない	20	4.1%
3	道路の幅員が十分でないので整備すべきでない	50	10.4%
4	わからない	18	3.7%
5	その他	26	5.4%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 整備されても啓発されなければ気づかないと思う。
- 整備は必要と思いますが道幅が狭い場所も多いので乗る人の意識を変えることが重要かと思う。
- 危険なのでやめるべき
- 車と自転車が同じ道を走ることに納得していない。



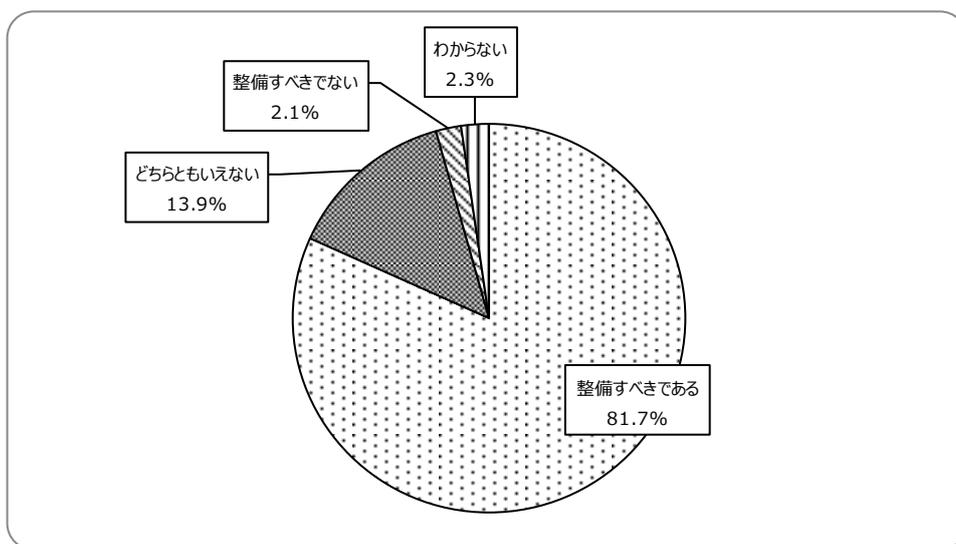
《自転車通行環境整備の推進について》

問 32. あなたは、今後も自転車道や自転車レーンなどの自転車通行環境の整備をすることについてどうお考えですか。

【選択は 1 つ】

「推進すべきである」と考えている方が昨年度の 78.0%に対して、今年度は 81.7%、「推進すべきでない」と考えている方は昨年度の 3.5%に対して、今年度は 2.1%であり、ともにほぼ横ばいであるが、「推進すべきである」は増加、「推進すべきでない」は減少している。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	整備すべきである	394	81.7%
2	どちらともいえない	67	13.9%
3	整備すべきでない	10	2.1%
4	わからない	11	2.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



(4)「駐輪環境」について

◀ 駅前の放置自転車台数について ▶

問 33. あなたが普段よく利用する（目にする）駅前の歩道及び車道について、放置自転車が何台あるイメージをお持ちですか。

選択肢 4 を選択した場合は、具体的な場所をお書きください。

【選択は 1 つ】

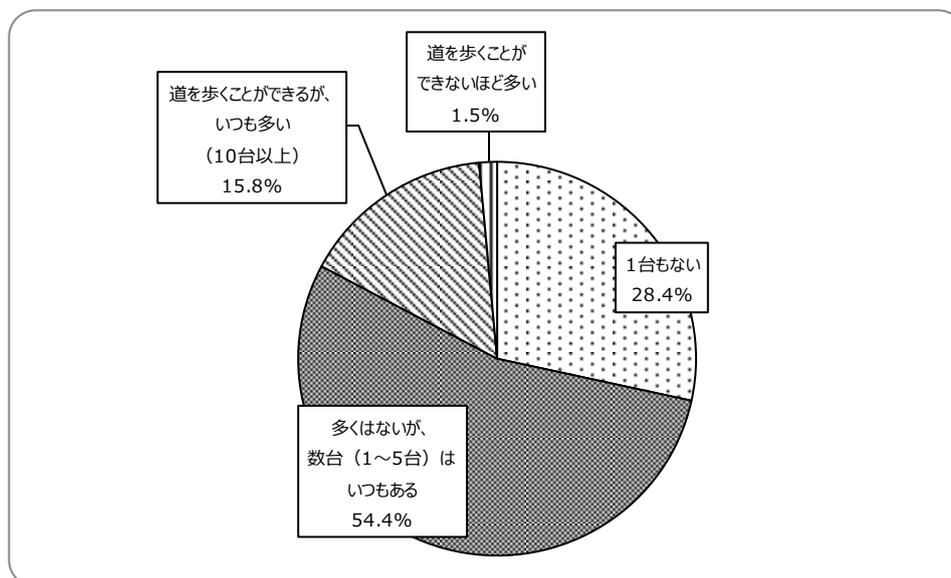
「1 台もない」が 28.4%、「多くはないが、数台（1～5 台）はいつもある」が 54.4%であり、約 8 割(82.8%)の方が駅前の歩道及び車道について放置自転車が少ないイメージを持っていることが分かる。しかしながら、「道を歩くことができるが、いつも多い（10 台以上）」が 15.8%、「道を歩くことができないほど多い」も 1.5%となっており、未だ常態的に自転車が放置されている場所があることから、今後もそのような場所を中心に対策を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	1台もない	137	28.4%
2	多くはないが、数台（1～5台）はいつもある	262	54.4%
3	道を歩くことができるが、いつも多い（10台以上）	76	15.8%
4	道を歩くことができないほど多い	7	1.5%
	計（回答総数）	482	100.0%

[4 具体的な場所]

【回答一覧】

- 堺東駅
- 中百舌鳥駅
- 鳳駅
- 泉ヶ丘駅



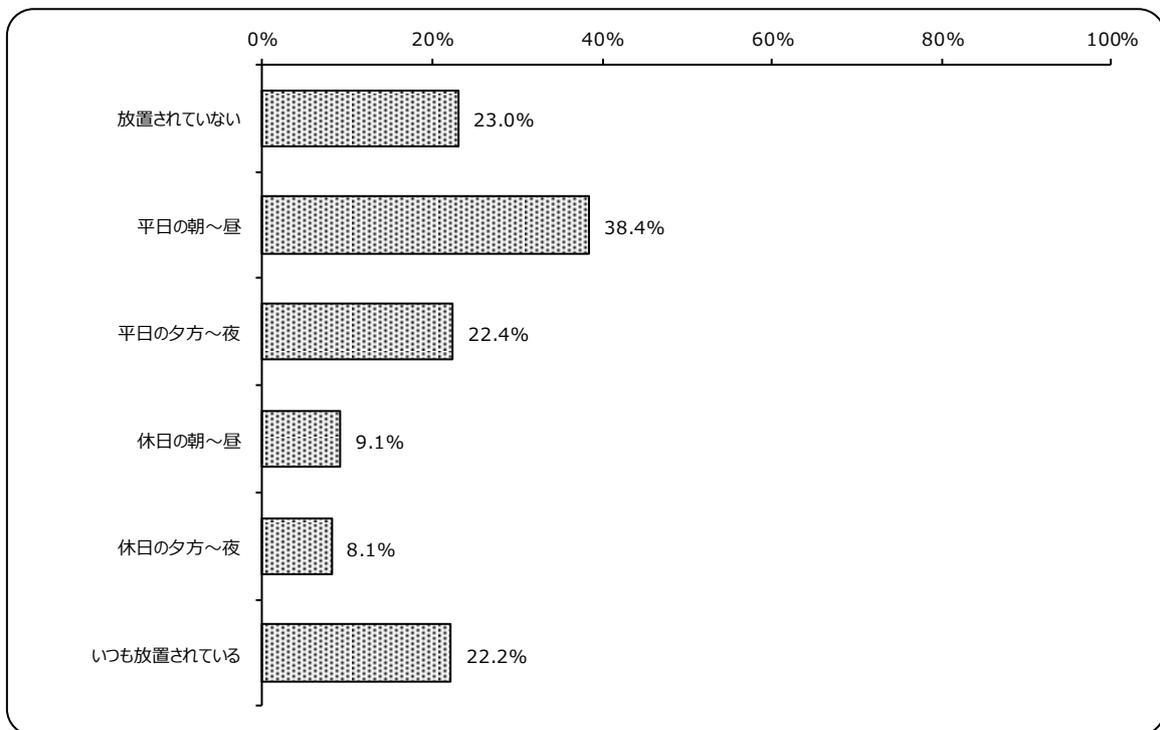
《駅前での放置自転車状況時間帯について》

問 34. 堺市内の各駅前の歩道及び車道について、特に放置自転車が多い時間帯はいつだと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

「平日の朝～昼」が 38.4%、「平日の夕方～夜」が 22.4%、「休日の朝～昼」が 9.1%、「休日の夕方～夜」が 8.1%、となっており、休日よりも平日の方が、また夜間よりも日中の方が、放置自転車が多いと認識していることが分かる。なお、「放置されていない」は 23.0%で、「いつも放置されている」は 22.2%となっており、概ね拮抗している。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	放置されていない	111	23.0%
2	平日の朝～昼	185	38.4%
3	平日の夕方～夜	108	22.4%
4	休日の朝～昼	44	9.1%
5	休日の夕方～夜	39	8.1%
6	いつも放置されている	107	22.2%
	計 (回答総数)	594	123.2%



≪ 駅前の駐輪場について ≫

問 35. 堺市内の各駅前について、駐輪場は充足していると感じますか。

選択肢 2 を選択した場合は、具体的な駅名などをお書きください。

【選択は 1 つ】

「充足している」が 85.9%となっており、多くの方が各駅前の駐輪場は充足していると認識していることが分かる。一方で「充足していない」が 14.1%あり、最も回答が多かったのが中百舌鳥（なかもず）駅で、次いで堺東駅、堺駅となっていた。

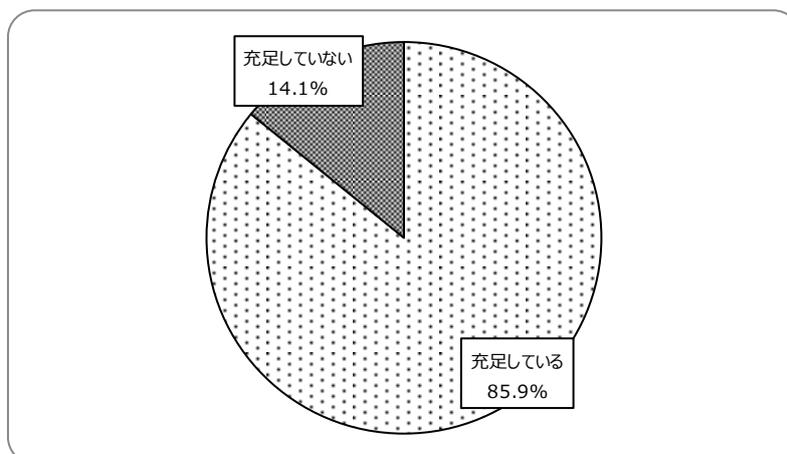
中百舌鳥駅は市内鉄道駅の中で最も自転車が集中している駅であり、今後も駅周辺の開発により駐輪場利用者が増加する可能性があることから、駐輪場の利用状況を注視していく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	充足している	414	85.9%
2	充足していない	68	14.1%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[2 具体的な駅名]

【回答一覧】（回答数が多かった順）

- 中百舌鳥（なかもず）駅
- 堺東駅
- 堺駅
- 泉ヶ丘駅
- 三国ヶ丘駅
- 北花田駅
- 新金岡駅
- 鳳駅
- 百舌鳥駅
- 初芝駅
- 北野田駅
- 深井駅
- 榎・美木多駅
- 阪堺線の駅



◀駐輪場のサービスについて▶

問 36. 堺市の駐輪場に希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

「短時間（1～2 時間程度）無料駐輪場の設置」が 65.6%と最も多く、駅周辺の商業施設や店舗への買い物など、駐輪時間が比較的短時間で済む方向への駐輪場が求められていることが分かる。次いで「利用料金などのキャッシュレス化」が 47.7%となっているほか、「定期申請のオンライン化」が 28.6%、「駐輪場の無人化（機械化）」も 25.3%であることから、支払い方法の多様化だけでなく、非接触型サービスのニーズもあることが伺える。

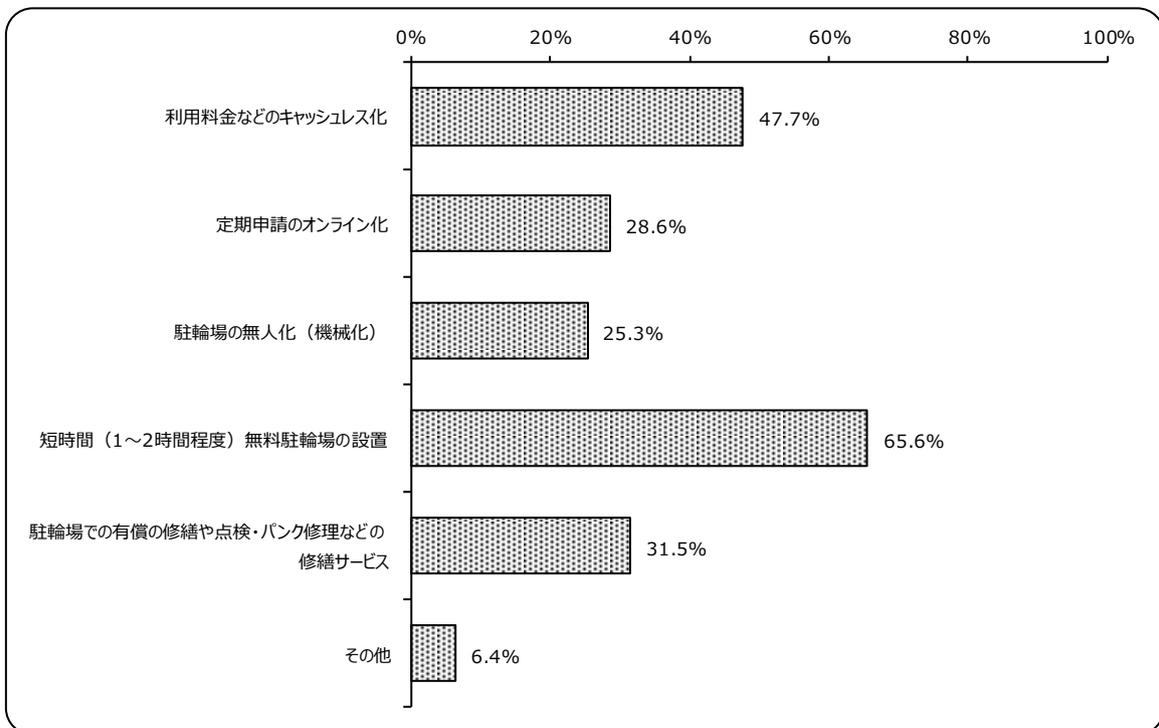
また「駐輪場での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス」も 31.5%となっており、駐輪場における付加価値も求められていることから、多様な利用形態に対応できる駐輪場をめざしていく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	利用料金などのキャッシュレス化	230	47.7%
2	定期申請のオンライン化	138	28.6%
3	駐輪場の無人化（機械化）	122	25.3%
4	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	316	65.6%
5	駐輪場での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス	152	31.5%
6	その他	31	6.4%
	計（回答総数）	989	205.2%

[6 その他]

【主な回答】

- 駐輪場の無料化
- 屋根付きや屋内など、雨天でも使える駐輪場の設置
- 自転車整備士による巡回やパンク修理



「本市の自転車施策に対する満足度及び自由意見など」

問 37. 本市での自転車の利用環境、安全利用、自転車の通行環境及び駐輪環境などについて、以下の項目に対する満足度をお答えください。また、ご意見などございましたらご自由にお書きください。

【各項目】

① 利用促進

⇒コミュニティサイクルなどの貸自転車が使いやすい環境やマイ自転車（※個人などで所有している自転車）においても通勤、通学や観光利用など手軽に楽しく自転車を利用できる環境ですか。

② 安全利用

⇒信号を守り、左側通行するなど自転車の交通ルール・マナーが順守されている状況ですか。

③ 通行環境

⇒あなたがお住まいの地域の道路は、自転車で走りやすい状況ですか。

④ 駐輪環境

⇒通勤通学時などで利用する駅前駐輪場は停めたいときに止められるなど使いやすい状況ですか。

【選択肢は各項目 1 つ：自由記述】

「①利用促進」についての満足度は、「おおむね満足している」が 28.8%、「満足している」が 8.7%と、約 4 割 (37.5%)の方が満足していることが分かる。「あまり満足していない」が 11.8%、「不満がある」が 5.4%と、約 2 割 (17.2%)の方が、現状の利用促進では不十分であることが分かる。

「②安全利用」についての満足度は、「おおむね満足している」が 21.8%、「満足している」が 4.8%と、約 3 割 (25.6%)の方が満足していることが分かる。「あまり満足していない」が 22.2%、「不満がある」が 19.7%と、約 4 割 (41.9%)の方が、自転車の安全利用について満足しておらず、さらなる自転車の交通ルール・マナーの周知・啓発が必要である。

「③通行環境」についての満足度は、「おおむね満足している」が 27.0%、「満足している」が 4.4%と、約 3 割 (31.4%)の方が満足していることが分かる。「不満がある」が 22.6%、「あまり満足していない」が 18.9%と、約 4 割 (41.5%)の方が、通行環境に満足していない。

「④駐輪環境」についての満足度は、「おおむね満足している」が 29.7%、「満足している」が 13.5%であり、約 4 割 (43.2%)の方が満足していることが分かる。駐輪場のキャッシュレス化など、多様な利用形態に対応できる駐輪場を目指し、より一層利用者サービスの向上に努める。

選択項目(N=482)	満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	不満がある	わからない	計(回答総数)
① 利用促進	42 8.7%	139 28.8%	152 31.5%	57 11.8%	26 5.4%	66 13.7%	482 100.0%
② 安全利用	23 4.8%	105 21.8%	122 25.3%	107 22.2%	95 19.7%	30 6.2%	482 100.0%
③ 通行環境	21 4.4%	130 27.0%	101 21.0%	91 18.9%	109 22.6%	30 6.2%	482 100.0%
④ 駐輪環境	65 13.5%	143 29.7%	93 19.3%	59 12.2%	45 9.3%	77 16.0%	482 100.0%

【「①利用促進」についての主な回答一覧】

- コミュニティサイクルなど貸自転車のことを今回のアンケートで初めて知ったため、そういったものはもっとPRしていくべき。
- レンタサイクルの推進
- コミュニティサイクルは貸出、返却場所が限られており使いにくい。
- レンタサイクルは市内の全てのコンビニと連携を取るべき。
- シェアサイクルの料金を下げて、利用者の増加を促進してはどうか。
- コミュニティサイクルは子育て世代には使いにくく、利用できる人が限られているため多様性に欠ける。子連れや子どもにとって使いやすい自転車を置いてほしい。
- 自転車タクシーが普及すればよいと思う。

【「②安全利用」についての主な回答一覧】

- 通学時間に複数の自転車がかなりのスピードで歩道を走るため、目線の低い子ども達が危険だと感じている。
- 信号無視や車道逆走、ながら運転などの悪質な運転に対して、警察署等と連携しながら取締を強化してほしい。
- 自転車レーンがあっても、道路自体の幅が狭いと恐くて走行できない。
- 高校生同士が自転車レーンを並走していると危ないと感じる。高校生にマナーを教えてほしい。
- 学生や高齢者など年代問わず、自転車のマナーが悪いので、ベビーカーを押しているときに怖いと感じたことが何度もある。

【「③通行環境」についての主な回答一覧】

- 自転車レーンがあっても利用されているところをみたことがない。歩道を走る自転車が多くの幼児連れにはかなりの危険を感じることが多々ある。条例で罰則を設けるなどしてルールを守る意識を啓発してほしい。
- せっかく自転車レーンが設置されていても、道幅が狭く道のデコボコが多いと子どもを乗せている時は転倒する不安があるため利用しない。自転車レーンの設置と並行して、道のデコボコを改善してほしい。
- 車道に自転車レーンを作られているのは、道幅が広ければよいが、狭い車道では怖いので、歩道を走ってしまいます。
- 自転車レーンの整備により、自転車で走りやすくなったとは感じるが、自転車レーンが路上駐車や停車で塞がれていることが多く、結局車道にはみ出すか歩道に乗り上げて走行することになる。これらの自動車を厳しく取り締まってほしい。
- 自転車レーンに街路樹がかかり車道に大きくはみ出さないと通行できない所がある。
- 自転車が通りやすいように道路が整備されてきているが、まだ通りにくい道もあるので、これからも整備を続けてほしい。
- 自転車レーンの全市ネットワーク構築など、大胆な自転車行政を期待している。
- 自転車レーンの表示区間を増加させる行政努力は評価できる。
- 自転車でこどもの保育園の送り迎えをしているが、みんな自転車レーンを走行するなどルールを守れていると思う。

【「④駐輪環境」についての主な回答一覧】

- 無料駐輪場（短時間無料を含む）を増やしてほしい。
- 市がお金をかけなくても、REIT（不動産投資信託）などの方法を使って駐輪場を増やせるのではないか。
- 他の駐輪場と相互利用が出来れば嬉しい。
- 堺東駅前などにある銀行の店先に、利用者のみでもよいので一時的に駐輪できるようにしてほしい。
- 立体駐輪場を利用すると、幅が狭くて自転車が入らないことがある。停めている間に傷だらけになってしまうので、どんなデザインでも利用できるような、立体駐輪場を作る時は十分な幅をとってほしい。
- 店舗利用の自転車と放置自転車は区別してほしい。
- 駐輪場をもう少しコンパクトにし、使い勝手を良くしてほしい。
- 堺東駅は管理員がきちんと見ているので放置自転車が少ない。
- 大阪市と比べて放置自転車がとても少ないため、通りやすい歩道が多くあり嬉しい。

- 雨の日に駐輪場を利用する際、濡れた雨合羽を保管しておけるように、一時保管場所を設置してほしい。
- 駅前の駐輪場は高齢者が働く場として必要であるため、無人化しないほうが良い。
- 駐輪場を利用する人が多い割にスペースが狭いので、自転車をとめる時や出る時は人に配慮しないとけない。
- 駅前の駐輪場には朝早くから常勤の管理員がいるので、安心して利用できる。
- 駅中や駅前のお店や病院に用事があるときに少し停めておきたいだけなのに、放置禁止や駐輪禁止などの張り紙があると停めにくくて利用を控えたり、やむを得ず停めたときも撤去されないかとか冷や冷やする。店舗など利用の証明ができれば1～2時間無料で止められる場所を、できれば一駅につき複数箇所設置してほしい。
- 中百舌鳥駅の駐輪場で通学用の定期利用の申し込みをしたが、6ヶ月待ちで利用ができなかった。
- 放置自転車が邪魔で通行の妨げになっている。高齢者の方がマナーが悪い。
- 駐輪場の定期利用の申し込みをするために直接行かないとけないのは不便だと思う。ホームページで空き状況がわかるようになっているが、情報がタイムリーに反映されていない。
- 回収した自転車の保管場所について、自転車を引き取りに行こうと思っても、交通が不便なので保管場所まで行けない。また、回収されたことがわからない。
- 駅前の駐輪環境は、他市に比べ整っており有難い。
- 駐輪場の職員の方が親切で、安心出来る。
- 駐輪場の定期利用をしているが、申し込み等手続きをする場所が遠いため面倒に感じる。また、定期利用のシールを自転車に貼り付ける現行のやり方を、スマホを使用するなどしてなんとか刷新できないか。
- 駐輪場を不正利用している自転車をみかけるので、不公平が出ないように取り締まってほしい。
- 駐輪場にメンテナンスやトラブルに対応してくれる施設を置いてほしい。
- 駐輪場の管理員の人数が多いと思う。配置人数を減らして、駐輪場の利用料を下げしてほしい。
- 数十年前は駅周辺などで放置自転車を目にする機会も多かったが、今はかなり整備されていると思う。
- 泉ヶ丘駅の有料駐輪場での盗難対策を強化してほしい。
- 泉ヶ丘駅北側の一時利用駐輪場を無人化してほしい。
- 泉ヶ丘駅で学校が休みの日は歩道や道をふさぐように自転車でいっぱいになっている。市が撤去してくれたらしばらく停める人が減るので、撤去する回数を増やせば違法駐輪が減るように思う。
- 泉ヶ丘駅前の駐輪場を原付バイクで利用するが、一日利用料金の設定しかないので短時間利用だと損した気分になる。
- 泉ヶ丘駅北側に機械式の駐輪場を設置してほしい。短時間利用したい場合、反対側まで回るのが不便。
- 近隣の駅付近の有料駐輪場は需要と供給のバランスが釣り合っていないのか、がら空きの状態。
- 駐輪場の定期利用を希望して順番待ちをしている人が何十人といるので、近隣の他施設と連携して駐輪場を拡充してほしい。
- 駐輪場の1台あたりのスペースが狭く、駐輪しづらい。
- 駐輪場が空き状況をネットで確認できれば便利。
- 百舌鳥駅の駐輪場が少ないので、一時利用が不便。
- 中百舌鳥駅の地下鉄側の駐輪場を利用すると、帰宅時に踏切の閉まる時間が長くなり、たくさんの自転車が踏切前にあふれている。踏切が開くと同時に一斉に自転車が動くので、年配の歩行者には危険だと感じる。
- 駅周辺の家と家の隙間に、自転車が止められている。徹底した取り締まりをしてほしい。
- すべての駐輪場に屋根をつけてほしい。利用料金は安く設定してほしい。駐輪場の位置が駅から遠いと意味がないと思う。

